

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	SYLVARES™ TP 300		
供給者の会社名称, 住所及び電話番号			
会社名	Kraton Chemical, LLC		
住所	P.O. 箱 550850 Jacksonville, FL 32255-0850 米国		
電話番号	電話番号	904-928-8700	
	Alternate Phone Number	800-526-5294	
	ファックス番号	904-928-8780	
緊急連絡電話番号	Emergency US	ケムトレック ( Chemtrec ) 800-424-9300	
製品コード	200000000731		
推奨用途及び使用上の制限			
推奨用途	産業用: 産業サイトにおける物質それ自体または調剤内に含まれる物質の使用。調剤の配合 [ 混合 ] および/または再包装 ( 合金を除く )。		
整理番号	9109		

## 2. 危険有害性の要約

### 化学品のGHS分類

GHS分類基準に該当しない。

### GHS ラベル要素

絵表示	なし。
注意喚起語	なし。
危険有害性情報	化学物質は分類基準を満たしていない。

### 注意書き

安全対策	産業衛生に気を配る。
応急措置	取り扱った後、手を洗うこと。
保管	避けるべき物質の近くに保管しない。
廃棄	廃棄物および残渣の処理は地方自治体の規制に従う。

### GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性

空気中で可燃性煤塵濃度を形成するおそれがある。

### その他の情報

なし。

### 重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な徴候	直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。
非常事態の概要	空気中で可燃性煤塵濃度を形成するおそれがある。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 化学物質

成分	CAS番号	官報公示整理番号		
		化審法	安衛法	含有量 (%)
テルペンフェノール	非公開	-		99-100

## 4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移動する。症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	石けんと水で洗い流す。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	眼を擦ってはならない。水で洗う。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合	口をすすぐこと。症状が現れたら医師の手当を受ける。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	粉塵は気道、皮膚、眼を刺激することがある。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。
医師に対する特別な注意事項	症状にあった治療を施す。

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤	水噴霧。泡消火剤。粉末消火剤。二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )。浮遊粉塵が生成しないよう、慎重に消火剤をかけること。
使ってはならない消火剤	消火に棒状放水しないこと
火災時の特有の危険有害性	空気中の高い濃度のじん埃は、空気と爆発性の混合物を形成する恐れがあります。燃焼性の蒸気の中または近くで容器を空にすると、静電気の電荷が発生し発火することがある。火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。本生成物は分解後、一酸化炭素、二酸化炭素及び/または低分子量の炭化水素を放出する。
特有の消火方法	火災や爆発の場合、煙を吸入してはならない。適切な保護具を着用する。危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。
一般的な火災の危険性	空気中で可燃性煤塵濃度を形成するおそれがある。
特定の消火方法	通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。火花を発生させない工具を使用すること。十分な濃度で大気中に放出されると爆発性混合物を形成するため、粉塵堆積物は表面に蓄積してはならない。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。十分な換気を確保する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。人体の保護具については第8項を参照。
環境に対する注意事項	下水や水路、地面への排出を避ける。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	全ての着火源 (近くにあるタバコ、炎、火花、火) を除去する。静電気放電に対する予防措置を講ずること。火花を発生させない工具を使用すること。空気中への粉塵の散布を避ける。(例、圧搾空気て粉塵の表面をクリアする等) リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。  大量流出：水で湿らせ、後で廃棄するために堰を設ける。廃棄物容器に物質をシャベルですくい入れてください。製品回収後、その付近を水で洗い流す。  少量の漏出：こぼれたものは、掃きとるか掃除機で吸い取り、適切な容器に移し、廃棄する。  絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策 (局所排気、全体換気等)	電氣的接地およびアース、または不活性雰囲気などの、適切な予防措置を講ずること。防爆型の全体および局所排気型換気装置。
安全取扱い注意事項	塵の生成や蓄積を最小限にする。物質の堆積物は空中に浮遊して可燃性の塵雲を形成し、二次的爆発の原因となるおそれがあるので、特に水平な表面に大量に堆積しないようにすること。日常の清掃は粉塵が表面に蓄積しないように実施。粉末消火剤は運搬および混合操作による摩擦で静電気を蓄積することがある。熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。環境への放出を避けること。産業衛生に気を配る。本SDS第8項で推奨されている個人用保護具を使用すること。容器は製品残渣が残っているので、これがたとえ空になっても、SDSおよびラベルの規定に従い注意事項を遵守しなければならない。
安全取扱注意事項	
接触回避	より詳しい情報については第10項を参照。
衛生対策	使用中は飲食や喫煙をしない。本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。眼の洗浄用噴水と緊急用シャワーをお勧めします。
保管	
安全な保管条件	大気温度及び大気圧で保管してください。乾燥した、涼しい、換気の良い場所で、容器の栓をしっかり閉めて保管する。混触危険物質 (本SDS第10項を参照) から離して保管すること。
安全な容器包装材料	元の容器に密閉して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等	標準監視手順に従ってください。
暴露限界値	含有成分に関して暴露限界は設定されていない。
設備対策	防爆型の全体および局所排気型換気装置。適切な全体換気（換気回数1時間に10回程度）を行わなければならない。換気回数は状況に合わせる。暴露限界値が設定されている場合は、密閉装置、局所排気装置その他の装置により、空气中濃度を暴露限界値以下に保つ。暴露限界値が設定されていない場合も、空气中の濃度を適切な濃度以下に抑える。
保護具	
呼吸用保護具	空气中の濃度を推奨曝露限界（適用できる場所で）、または許容レベル（曝露限界が確立していない国）を工学技術管理が下回らない場合、推奨マスクを着用しなければならない。
手の保護具	適した耐化学薬品性の手袋を着用しなければならない。適切な手袋は、手袋の専門業者に推奨してもらうこともできる。
眼、顔面の保護具	サイドシールドのついた安全眼鏡（またはゴーグル）を着用する。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体。
形状	フレーク
色	薄い黄色。
臭い	軽度の。
融点 / 凝固点	データなし。
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし。
可燃性	データなし。
爆発下限界及び爆発上限界 / 可燃限界	
爆発限界 - 下限(%)	データなし。
爆発限界 - 上限(%)	データなし。
引火点	194.0 °C (381.2 °F) セタフラッシュ密閉式
自然発火点	データなし。
分解温度	データなし。
pH	データなし。
動粘性率	データなし。
溶解度	
溶解度 (水)	< 0.1 % at 25°C
n-オクタノール / 水分配係数 (log 値)	データなし。
蒸気圧	< 0.001 mm Hg at 20°C
密度及び / 又は相対密度	
密度	1050.00 kg/m <sup>3</sup> at 20°C
比重	1.05 で 25°C/25°C (water=1)
相対ガス密度	データなし。
粒子特性	データなし。
その他の情報	
化学族	テルペンフェノール
蒸発速度	0 約, (n-BuAc=1)
爆発性状	爆発物でない。
酸化能力	酸化性でない。
揮発物濃度	< 0.1 % by weight (推定値)
閃点	8.5
軟化点	112 °C (233.6 °F) Ring & Ball
粘度 (粘性率)	910 cP ブルックフィールドで 150°C
加重固体	100 %

## 10. 安定性及び反応性

反応性	本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。
化学的安定性	通常状態で安定。
危険有害反応可能性	一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。
避けるべき条件	強酸化剤。熱、火花、裸火から離して保管する。混触危険物質との接触。塵の生成や蓄積を最小限にする。
混触危険物質	強酸化剤。
危険有害な分解生成物	分解後、本生成物は二酸化炭素、一酸化炭素、水やその他の可燃性生成物を含んだ臭いの強い濃厚な煙を放出します。

## 11. 有害性情報

急性毒性	入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。	
成分	種	試験結果
テルペンフェノール		
急性		
経口		
固体		
LD50	ラット	> 7000 mg/kg
皮膚腐食性 / 刺激性	長時間の皮膚接触により一時的な刺激を起こすことがある。	
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。	
呼吸器感作性又は皮膚感作性		
呼吸器感作性	データなし。	
皮膚感作性	この製品は、皮膚感作を引き起こすとは思われない。	
生殖細胞変異毒性	本製品あるいは製品中に0.1%以上含有する成分に変異原性または遺伝子毒性があることを示すデータはない。	
発がん性	IARC、ACGIH、NTPあるいはOSHAによれば、この製品は発がん物質とはみなされない。	
生殖毒性	この製品は、生殖影響または発生影響を引き起こすとは予測されない。	
特定標的臓器毒性 ( 単回ばく露 )	データなし。	
特定標的臓器毒性 ( 反復ばく露 )	データなし。	
誤えん有害性	データなし。	

## 12. 環境影響情報

生態毒性	この製品は環境に有害であるとは分類されていない。しかし、大量の流出や繰り返しの流出が環境に有害な影響を及ぼさないと限らない。
残留性・分解性	この製品の分解性についてのデータはない。
生態蓄積性	データなし
土壤中の移動性	本生成物のデータはない。
オゾン層への有害性	データなし
他の有害影響	その他の環境悪影響 ( 例、オゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性 ) は、これらの成分からは予想されない。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	現地の規定に従い、処分する。空の容器やライナーには製品の残余物が残っている可能性がある。本物質とその容器は安全な方法で廃棄しなければならない ( 「廃棄上の注意」 参照 ) 。
汚染容器及び包装	製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。
地域の廃棄規制	廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。内容物 / 容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分業の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。

## 14. 輸送上の注意

### IATA

危険物には該当しない。

### IMDG

危険物には該当しない。

MARPOL73/78 附属書II 及びIBC データなし。

コードによるばら積み輸送される

液体物質

国内規制

国内輸送については 15 章の規制に従うこと。

## 15. 適用法令

### 労働安全衛生法

通知対象物

該当せず。

表示対象物

該当せず。

### 毒物及び劇物取締法

特定毒物

該当せず。

毒物

該当せず。

劇物

該当せず。

### 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

該当せず。

第二種特定化学物質

該当せず。

監視化学物質

該当せず。

優先評価化学物質

該当せず。

届出不要物質

該当せず。

### 化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

### 火薬類取締法

該当せず。

## 16. その他の情報

### 引用文献

ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices

HSDB® - Hazardous Substances Data Bank

IARC発がん性評価モノグラフ

日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2012年6月

日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告

JIS Z 7252 : 2019 GHS に基づく化学品の分類方法

JIS Z 7253 : 2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート ( SDS )

National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens

KRATON CORPORATIONは、各顧客または本SDS（安全データ情報）の受取人がそれをよく調べ、必要に応じてまたは適宜、適切な専門家の意見を参照し、本SDSに含まれるデータおよび製品に関連付けられる危険を認識し、理解するよう勧めます。本書に記載の情報は、本書の日付時点で、信頼できる情報源から取得された、最新情報に基づいており、合理的な努力と誠意をもって作成されています。かかる情報は、一切の保証なしに作成されており、また執筆者、その雇用主、関係会社に何らの法的義務や責任を定めるものではありません。ここに提供される情報は、指針として作成されたものに過ぎず、その完全性は保証されません。この情報は、一切の個別の製品の特徴、性質、品質、または仕様を保証しません。

この情報は、出荷するよう指定された特定の製品にのみ関連しており、本書に明示的な定めがない限り、他の素材や製品と組み合わせ、または何らかのプロセスにおいて、かかる製品を使用した場合、この情報が有効性を失う可能性があります。本書で定めるいかなる規定も、既存の特許権に抵触するか、または既存の特許権により請求される製品の使用を推奨する、またはかかる製品の使用に対してライセンスを付与すると解釈されません。利用者は、製品の意図された使用がかかる特許を侵害しているかどうかを単独で最終的に判断するものとします。規制要件は、変更される可能性があり、またさまざまな地域間で異なる場合があります。ユーザーの活動がすべての現地、連邦および国際法規および現地の許可基準を遵守していることを確保するのはユーザーの責任です。

当社は、当社のために、および当社の関連会社を代表し、本書に記載された情報に何らかの形で関係する何らかの活動から生じた損害または傷害に対し、一切の責任を明示的に否定します。情報源の増加により、当社は、当社以外の情報源から取得されたSDSに対して責任を負わず、また負うことができません。別の情報源からSDSを取得した場合、またはお持ちのSDSが最新版かどうか分からない場合、当社にご連絡いただき、最新版をお求めください。

\*KRATON, the KRATON logo, the “Green Super Drop” logo, 1101, ABIETA, AQUATAC, BiaXam, BI-THIN, CENTURY, CENWAX, CirKular+, ELEXAR, ELLAMERA, E-LEXAR, HiMA, IMSS, IPD, NEXAR, PER-SUST, PriMul, RAD-THICK, REFLECTAID, REvolution, SYLFAT, SYLVABIND, SYLVABLEND, SYLVACLEAR, SYLVACOTE, SYLVADERM, SYLVAFUEL, SYLVAGEL, SYLVAGUM, SYLVALITE, SYLVAMIN, SYLVAPINE, SYLVAPRINT, SYLVARES, SYLVAROAD, SYLVAROS, SYLVASOLV, SYLVATAC, SYLVATAL, SYLVATRAXX, TER-SET, UNICLEAR, UNIDYME, UNIFLEX, UNI-REZ, UNI-TAC, and ZONATAC は、Kraton Corporation、または1つまたは複数の国（ただしすべての国ではない）の子会社もしくは関連会社の商標または登録商標です。

©2016-2022 Kraton Corporation